

〔延喜式^{十二}中務〕凡諸王以上、娶臣家女爲妻者、不得准夫品位、其內親王及女王、亦不得准夫品位、但五世王者得准夫位、

〔令義解^{職一}〕正親司

正一人、掌皇親名籍、謂二世以下四世以上名籍、案戶令皇親、事、佑一人、大令史一人、少令史一人、使部十人、直丁一人、

〔延喜式^{十一}內〕凡親王諸王名籍者、皆於正親司案記、

〔類聚符宣抄^六〕

皇親籍三卷

勘出帳一卷

並延曆八年作

右外記曹司無有件書、而今四部之書在正親司、望請取彼一部以爲官料、

弘仁十二年十一月四日

右大臣宣依請、

參議左大辨直世王^奉

世襲親王

〔延喜式^{三十一}宮內〕凡其有品內親王、若有請事者、申省、省受申官、即朝參及勅召者、申縫殿寮、又內侍知之、〔官職難儀〕さていま天子の皇子にてもなくて、二代三代の御末にて、親王宣下侍るは、一向道理に叶はぬ事也、されどもいづれも天子御猶子の號にて宣下也、去からざるはなきなり、

〔類例略要集〕親王家 御家督御相續之節ニ、御所之御養子ニ被成、仍而御代々稱親王、若無其儀、稱何宮、又ハ何王なり、

〔皇胤紹運錄〕

龜山院

恒明親王

一品式部卿、常磐井宮、